

むら
ディスカバー農山漁村の宝
(第8回応募団体)

取組事例集

愛媛県



【お問い合わせ先】

中国四国農政局愛媛県拠点地方参事官室
〒790-8519 愛媛県松山市宮田町188番地 松山地方合同庁舎
☎089-932-1177

中国四国農政局農村振興部農村計画課
〒700-8532 岡山県岡山市北区下石井1丁目4番1号
☎086-224-4511 (代表)

令和4年3月
中国四国農政局

発刊にあたって

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」は、内閣官房及び農林水産省が、「強い農林水産業」「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、全国への発信を通じて他地域への横展開を図るもので、今年度（令和3年度）で8回目となります。

中国四国農政局管内では171件の応募があり、「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」として7地区と2名が選定されました。

さらに、中国四国農政局では、応募のあった地区（者）の中から、他の地域の参考となるような優良な事例を、「中国四国農政局『ディスカバー農山漁村（むら）の宝』」として13地区と2名を選定するとともに、今後の活躍が期待できる事例を、「奨励賞」として22地区を選定しました。

また、今年度応募のあった地区（者）の事例について、その地域での「農山漁村（むら）の宝」として広く情報発信するとともに、身近な地域の取組として紹介するため、各県別の事例集を作成しました。

各地域において参考にしていただき、農山漁村や農林漁業への関心を深めていただくきっかけになれば幸いです。

※「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」の情報は、中国四国農政局のホームページ（下記URL）をご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/chushi/nouson/kaseika/discover.html>



令和4年3月
中国四国農政局農村振興部

目 次

- 「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」について …… 1
- 応募地区(者)一覧 ……………6
- 応募地区(者)位置図 ……………7
- 応募地区(者)の取組事例 ……………8

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」について

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向けて、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国へ発信するものです。

1. 「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第8回選定）

今回の「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第8回選定）では、令和3年6月16日から8月31日までに、農山漁村活性化の取組として全国から651件（管内からは171件）の応募があり、令和3年11月19日に総理大臣官邸で開催された「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」（第8回選定）有識者懇談会において、団体部門（コミュニティ部門及びビジネス部門）で34地区と個人部門で4名が「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」として選定されました。

中国四国農政局管内からは7地区と2名が選定され、その中から優秀賞の個人部に岡山県岡山市の「植田輝義」、優秀賞のコミュニティ部門に徳島県神山町の「神山しずくプロジェクト」、特別賞に広島県庄原市の「株式会社敷信村農吉」、徳島県阿南市の「黒川真太郎」、愛媛県伊方町「愛媛県立三崎高等学校『せんたんプロジェクト』」が選定されました。



「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」ロゴマーク

2. 中国四国農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」

中国四国農政局では、管内で応募のあった171件の中から、他地域の参考となるような優れた地域活性化の事例を「中国四国農政局『ディスカバー農山漁村（むら）の宝』」として広く発信することとし、令和3年10月27日、中国四国農政局において選定委員会を開催し、13地区と2名を選定しました。

また、今後の活躍が期待できる事例を奨励賞として22地区を選定しました。



中国四国農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」
オリジナルロゴマーク

3. 管内選定地区（者）の概要

(1) 全国版選定（ディスカバー農山漁村（むら）の宝（第8回選定））

植田 輝義（岡山県岡山市） **優秀賞**

- 地元特産の黄ニラと岡山パクチー大使として、メディアや祭への参加により産地をPRするとともに、学校、福祉、企業とも連携。
- 岡山交通（株）とコラボし、「黄ニラタクシー」を誕生。タクシー乗務員への農業指導も実施。



2021年国和産業株式会社コラボ
パクチーゼリー完成

草間台エコミュージアム推進協議会（岡山県新見市）

- 草間台地の自然・産業・歴史文化等の宝物を発見し、それらを護るとともに発信し、地域振興に貢献。
- 地域を自然、産業、歴史文化等の宝物にあふれる「エコミュージアム」（屋根のない博物館）と捉え、里山の維持保全等を実施。



小学生の洞窟探検

株式会社敷信村農吉（広島県庄原市） **特別賞**

- 里山の自然を活かした保育所の運営を軸に、農産物やチーズの製造・販売等の地域密着型の事業を展開。
- 保育所では、園庭での野菜栽培、自社農園の農産物を使った給食の提供など、「身土不二」を教育。



地元生乳100%の手作りチーズは
国内外で高評価

株式会社63Dnet（山口県長門市）

- 地域食材を使った、コロナの状況でも強い商品づくりと幅広い販売チャンネルの確立により、地域事業者の収入確保に貢献。
- 農業生産者が6次産業化を行うために必要な施設や専門知識・ノウハウを補完し6次産業化を支援する「ながとラボ」を運営。



地元産マルシェ「LaLa フラン」

黒川 真太郎（徳島県阿南市） **特別賞**

- 農業・食品加工・販売の3本柱の小さな6次産業を実践するとともに、子育て環境の充実として学童保育を立ち上げ運営。
- 環境保全型農業での農産物づくりを実践。お米の消費拡大のため、パンや菓子等の食品加工、全国の消費者へのネット販売も実施。



毎月1回JRT(四国放送)ラジオで
活動等の情報発信

神山しずくプロジェクト（徳島県神山町） **優秀賞**

- 山林課題の啓発活動、町産材を活用した商品開発・販売など、地元産業振興により地域活性化に貢献。
- スギの弱点とされる赤白の木目を活かしたデザインの木製品を開発。地域おこし協力隊制度を活用した職人育成事業も実施。



スギにしか出来ない赤白の柎目が
美しい木製品

「高松盆栽の郷」推進協議会（香川県高松市）

- 国内外に向けた高松盆栽の情報発信と担い手の育成による JA 香川県「高松盆栽の郷」の発展に向けた取組。
- 4ヶ国語対応のウェブサイト等により国内外に高松盆栽の紹介・販売を実施。令和2年度はオンラインでのオークション等を実施。



高松盆栽オークション
盆栽紹介ライブ配信

愛媛県立三崎高等学校「せんたんプロジェクト」（愛媛県伊方町）

特別賞

- 高校生が主体となる地域の魅力開発及び発信により、伊方町の関係人口の増加と移住・定住者数の確保に貢献。
- 全校生徒をPR活動等、カフェ、商品開発、ツアー、アート、防災の6つのグループに分け探求活動を実施。



みさこう Café

吉延営農組合（高知県本山町）

- 地域の持続可能な営農体制づくりに加え、棚田散策ツアーの実施など地域活性化を目指した幅広い活動を実施。
- 集落一体となって防護柵の設置等の獣害対策を行っているほか、田んぼアートや棚田コンサート等の都市との交流事業も実施。



吉延集落の棚田

（2）地方版選定（中国四国農政局「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」）

株式会社大山こむぎプロジェクト（鳥取県米子市）

- 鳥取県産の小麦「大山こむぎ」を生産し、地元を中心としたパン屋や飲食店をはじめ、学校給食にも供給。
- 生産者の顔（名前）の見える商品展開を行い、生産農家の生産意欲を向上。小麦生産量の増加に取り組む。
- 生産、製粉、流通と連携する鳥取県産小麦の地域商社。



創る会（利用者）と生産者の懇親会
～食べる会～

ふなおか共生の里づくり推進協議会（鳥取県八頭町）

- 次世代への取組として保育園や小学校の田植え体験を実施。
- 多面的機能支払制度の広域協定への参加により、地域の保全活動に取り組む。
- 集落と協議会で実行委員会をつくり、交流体験農園や農泊の受け入れを行う。



交流体験で梅ぼりを教える

有限会社旭養鶏舎（島根県大田市）

- えごま玉子の生産と、自社工場で加工品（25 アイテム）の製造を行う。
- 大学や病院と連帯し、えごま玉子を食べることの効果について検証。
- ITとオートメーション化、6次産業化を積極的に進め、社員の半数近くが女性。女性役員・管理職の登用も積極的に行っている。
- 耕作放棄地を活用し、退職者や高齢者によるエゴマ栽培を行う。



えごま玉子

株式会社西栗倉・森の学校（岡山県西栗倉村）

- 木材加工品づくりの製造工程で出てくる端材を、DIYユーザーに一点モノ端材としてお値打ち価格で販売。
- 人口約 1,400 人の村に 620 人も来客するような、モノづくり体験や端材の購入ができるイベントを開催（令和3年春に2日間開催）。



販売する端材製品のイメージ

万古溪養魚観光株式会社（広島県廿日市市）

- 川と海の養殖業者が卵から成魚まで一貫生産し、1年目の種苗から海面飼育した大型種苗により成魚の早期出荷と大型化を実現。
- 養殖場に釣堀を設置。釣った魚をその場で楽しめる食事処を併設。
- 市内の短期大学と連携し、「誰でも気軽に食べられるニジマスレシピ」を考案。魚食普及に取り組む。



子供から大人まで楽しめる釣堀施設

FAM'Sキッチンいわくに（山口県岩国市）

- 直売所における独自の集出荷システムを用い、岩国地域全域から出荷しやすい体制を整備。
- 店舗まで生産物を持ち込めない生産者のため、巡回トラック2台により毎日集荷。
- 陳列エリアを生産者に割り当て、自ら創意工夫した販売を展開。
- 売り切れなかった商品を生産者に提供。



遠隔地の産物を集約する巡回トラック

梅川 仁樹（山口県岩国市）

- わさびの超促成栽培について検証し、収益性の高い栽培技術を確立。
- 県農業士協会のリーダーとして、新規就農者等の支援に取り組む。
- 人・農地プラン等の話し合いに積極的に参加し、地域住民と課題や問題解決の共有を図る。
- 地元小学生に神楽を伝承し、伝統文化（向峠神楽）の継承に務める。



山口県農業士協会による研修

吉田 ますみ（徳島県美馬市）

- 耕作放棄地となっている茶畑再生と、集落のブランディングプロジェクトに取り組む。
- 未来の子供たちへ世界農業遺産に選ばれた農耕システムの継承と新しい農文化を生み出すふるさと協働事業に取り組む。
- 緑茶に関わる人々を増やし、その魅力や活動で感じたものを発信。



地元穴吹高校生との茶染め体験

（株）フードハブ・プロジェクト（徳島県神山町）

- 「育てる、つくる、食べる、つなぐ」という小さな食の循環システムを通し、地域で栽培した農産物を使った食堂・パン屋・食品店を運営。地元の食材で加工品を開発。
- 新規就農者の受入や、子供の農業生産、加工、販売等の体験を実施。
- 地元の農業高校と連携し、環境保全型農業を軸とした、農業生産、加工、販売などのカリキュラムを構築。



地域のみんなでつくる加工品の開発・製造

大野豆プロジェクト（香川県高松市）

- 休耕田を活用して夏は大豆・黒豆・小豆、冬は空豆（一寸及び「大野豆」）を栽培し、年間合計約1.5tを販売。
- 地元児童・生徒による豆栽培、豆腐・しょうゆづくり体験を実施。
- 地元産の豆類を使った「豆 de 家庭料理コンテスト」を実施。



大野小5年生児童の「大野豆」
収穫作業

みとよのみプロジェクト（香川県三豊市）

- 三豊市と地元生産者が連携して市内の魅力的な農産物の6次産業化や地域産品の開発に取り組み、地域農水産物のブランド化を推進。
- 生産者と商品を掲載したHPの制作やSNS等により情報発信を行う。
- 展示会、商談会への参加やフェアを開催。



みとよのみプロジェクトで開発
された商品

チームそら豆（香川県小豆島町）

- そら豆醤油の原料となる国産の乾燥ソラマメがなかったため、農商が連携して原料を生産。
- 需要の増加に伴い、地域の特産品としての製造を維持していくために、原料の生産拡大を行う。
- 良いものを生産するためにほ場巡回や講習会を行うとともに、生産者と収穫物の全量買い取りの契約を結ぶ。



アレルギーフリーのそら豆醤油

愛媛県立川之石高等学校 GAP チーム（愛媛県八幡浜市）

- グローバル GAP 認証を取得した柑橘を使って、世界マーレード大会へ出品。
- 柑橘や柑橘加工品の輸出、GAP 認証取得、GAP 学習会、販路学習などを地元企業3社と連携して実施。
- 被災柑橘農家応援のため、地元や東京で復興マルシェイベントに参加。
- 大学や農業大学の職員を講師に招き、柑橘園付近の鳥獣害対策について学習すると共に生物調査を実施。



柑橘11品目でグローバルGAP
認証取得

愛媛県立八幡浜高等学校商業研究部 A★KIND（愛媛県八幡浜市）

- 八幡浜市に水揚げされる「未利用魚」の活用を考案。
- 魚食の普及活動として、未利用魚を使った学校給食のメニューの考案や、クリアファイルで魚食マップを作成して配布。
- 未利用魚の定食提供ツアーの実施や、地元日曜市等のイベントでの販売活動を実施。



小学生との給食交流会

高知商業高等学校ジビエ商品開発・販売促進部（高知県高知市）

- 高校生が鳥獣被害という課題解決に向けてジビエ活用商品を開発。
- 高知県産の赤牛や規格外野菜を使用したジビエ商品を考案し、高校生ジビエ・レストランを出店して提供。
- 販売利益をシカなどの食害を受けた森林保護活動に寄付するとともに、植樹活動にも参加。



高校生ジビエ・レストラン出店

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」(第8回選定) 応募地区(者) 一覧 (愛媛県)

No.	選定地区	部門	市町村	地区名/氏名	該当する取り組み		
①		コミュニティ	松山市	松山東雲短期大学 しののめベジガール	企業との連携	食育・教育	若者・学生の活躍
②	奨励賞	ビジネス	今治市	愛媛県漁業協同組合大浜支所女性部	農林漁業	女性・高齢者の活躍	6次産業化・地元食材活用
③		コミュニティ	八幡浜市	愛媛県立川之石高等学校 GAPチーム	6次産業化	伝統の継承	学生・若者の活躍
④		コミュニティ	八幡浜市	愛媛県立八幡浜高等学校 商業研究部A★KIND	農林漁業	地産地消	食育・教育
⑤	奨励賞	コミュニティ	新居浜市	新居浜市立別子中学校	農林漁業	高齢者の活躍	学生・若者の活躍
⑥	奨励賞	コミュニティ	西条市	NPO法人 うちぬき21プロジェクト 千町棚田チーム	棚田保全	伝統の継承	耕作放棄地対策
⑦		コミュニティ	西条市	愛媛県立丹原高等学校 園芸科学科 野菜班	食育・教育	学生・若者の活躍	持続可能なまちづくり
⑧	奨励賞	コミュニティ	西条市	げんきアップ! おうえんたい (西条市栄養教員部会)	地産地消	伝統の継承	食育・教育
⑨		コミュニティ	伊予市	愛媛県立伊予農業高等学校 生活科学科食物班	企業との連携	食育・教育	学生・若者の活躍
⑩		コミュニティ	伊方町	愛媛県立三崎高等学校 「せんたんプロジェクト」	企業との連携	移住・定住	学生・若者の活躍

まつやましののめたんきだいがく

松山東雲短期大学 しののめベジガール

～愛媛県民を愛顔に！食の大切さ野菜帽でPR～



東温市健康フォーラムで朝食・野菜クイズ



1杯で不足分を補うスムージー試飲。400杯/h

経緯

- 愛媛県では、県民健康調査結果に基づき、平成28年より若い世代・働き盛りの食生活改善の為、「愛顔のE-IYOプロジェクト」に取り組んでいる。
- 県民の野菜・朝食摂取向上の啓発活動のため、松山東雲短期大学食物栄養学科の学生が、色とりどりの野菜帽がトレードマークの『しののめベジガール』を結成し、行政・企業・地域と連携。

取組内容

- カゴメ(株)、東温市、大洲市と連携し、野菜スムージー試飲や啓発活動による食育推進を実施。
- 大塚製薬(株)と連携して、ベジガール全員が「熱中症対策アドバイザー」を取得し、熱中症予防の啓発活動を実施。
- 松山市SDGs推進協議会と連携し、スマートアイランドモデル「中島」の地元食材を活かしたにぎわい創出メニュー考案中。

活動の効果

- InstagramやTwitterで情報発信することにより、本学への入学動機となり、自身の食生活を見直すきっかけにもなっている。
- 専門性を活かした活動がTVや新聞に取り上げられ、啓発活動の情報発信となっている。
- 卒業生の多くが地元就職し、地域課題に取り組んだ経験から、地域のリーダーとして活躍している。

応募団体からのアピール・メッセージ

SDGs(持続可能な開発目標)17の目標のうち「2.飢餓をゼロに」「3.すべての人に健康と福祉を」の実現を目指して活動し、活動した学生・地域・企業など、それぞれにwinがwinを呼ぶ活動となっている。

奨励賞

えひめけんぎょぎょうきょうどうくみあい

おおはましよ

じよせいぶ

愛媛県漁業協同組合大浜支所女性部

～来島海峡の天然真鯛「来島鯛」を食べてみて～



女性部のみなさん



商品開発したメニュー

経緯

- 大浜地区では、高齢化・後継者不足と重なり、漁業者人口が減少傾向になっているが、「活気ある浜に戻りたい」と水産庁の浜プランの承認を受けた。
- プレジャーボート収容施設や駐車場、公園が整備され、公園内に魚介類の提供や宣伝が行える加工直販施設の建設が決定し、運営者として女性部に白羽の矢がたった。

取組内容

- 大浜支所で水揚げされる天然真鯛『来島鯛』を中心に、大浜で水揚げされる魚介類を使ったメニューを開発。
- 「大浜の魚を知り食べてもらいたい」「美しい来島海峡の絶景を含め、訪れる観光客へおもてなしがしたい」「また来たいと思える愛着の持てる場所にしたい」という3つのコンセプトを元に、私達の航海船『浜の台所「潮里(しおり)」』丸が出港。

活動の効果

- 「潮里」への地域内外のリピーターも増え、地域に活気が出てきた。また、「潮里」が地域コミュニティの場となった。
- モーニングメニュー提供時には、「大浜のモーニング娘(地元高齢者の愛称)」が来店するなど交流や安否確認の場となっている。
- 地元の方の定期的な来店や、ねぎらいの言葉をかけてくれる様になり、少しずつ活気のある浜に戻りつつあるように感じる。

応募団体からのアピール・メッセージ

漁協直営店ならではの新鮮かつリーズナブルな価格で味わえる魚料理と、来島海峡を目の前に眺める絶景や地元の人との交流を楽しみに来てください。



えひめけんりつかわのいしこうとうがっこう

ぎゃっぶ

愛媛県立川之石高等学校 GAPチーム

～ GAPでつながる地域の輪～



柑橘11品目でグローバルGAP認証取得

第3回ダルメイン世界マーマレード
アワード&フェスティバル日本大会高校生では
唯一!

第1回大会に続きプロの部で入賞!

(第1回大会 柑橘1種 受賞: 甘夏、期賞: 晴果、第2回大会は中止)



柑橘1種 観音



清見



柑橘1種 銅賞



伊予柑



柑橘1種 銅賞



日向夏

ダルメイン世界マーマレード大会に出品

経緯

- 地域社会において、農業分野のグローバル化への対応を牽引・指導する次世代リーダーの必要性を実感。
- 平成28年度から(株)ミヤモトオレンジガーデンの協力を得て、柑橘のグローバルGAP認証取得を目指して取り組み、地域のモデル校を目指すことで次世代リーダーを育成。

取組内容

- グローバルGAP認証を取得した柑橘を使って世界マーマレード大会へ出品。
- 柑橘や柑橘加工品の輸出、GAP認証取得、GAP学習会、販路学習などを地元企業3社と連携して実施。
- 被災した柑橘農家の応援のため、地元地域や東京で復興マルシェイベントに参加。
- 大学や農業大学の職員を講師に招き、柑橘園付近に生息する鳥獣害対策を学習すると共に生物調査を実施。

活動の効果

- 鳥獣害対策や生物調査、GAP認証取得が日本農業遺産認定に繋がった。
- 海外輸出における成果や課題をJAなどに共有することで地域に還元。
- 地元企業と連携した取組を通じて生徒(農業後継者)の育成に繋がる。
- 被災した柑橘農家を応援することで地域の活性化に貢献。

応募団体からのアピール・メッセージ

海外販売や地域での販売を通じて、グローバルGAPをさらにPRすると共に、こうした活動を継続することで世界農業遺産認定を目指したい。



えひめけんりつやわたはまこうとうがっこう

しょうぎょうけんきゅうぶ あきんど

愛媛県立八幡浜高等学校 商業研究部A★KIND

～魚食教育の推進と水産業の魅力発信！～



小学生との給食交流会



地元イベントでの販売活動

経緯

- 本校商業研究部は平成12年から「バーチャルカンパニーA★KIND（アキンド）」の名称で活動。
- 八幡浜市に水揚げされる魚に「未利用魚」が多く存在することを知り、未利用魚の活用を考案した。
- 「発信力の弱さ」を改善して「魚食の推進活動」を強化し、水産業の魅力を発信する活動を行っている。

取組内容

- 未利用魚を使ったメニューを小中学校に給食として提供。
- 未利用魚の魚食マップのクリアファイルを作成し、市内小学生と教職員全員に提供。
- 未利用魚を使用した定食（3種類）を提供するツアーを実施。イベント定食として提供。
- 地元日曜市で販売活動を実施。
- コロナ禍では、商品開発を中心に活動を行っている。

活動の効果

- 日曜市での販売活動では、予想以上の売上が実現した。
- 当活動に興味を持ってもらえる関係機関も増え、イベントへの参加依頼が増加し、取組が広がってきた。
- 魚食の普及は学校給食のメニューの考案等、継続的に実施できるようになった。
- 八幡浜漁業協同組合と共同企画し「八幡浜いよかん鯛めし」を商品化。

応募団体からのアピール・メッセージ

自分たちの活動で周りの人たちを支援することは、自分の人間性を高めてくれることも理解することができました。今後も地域貢献活動を継続していきます。

奨励賞

にいはましりつべっしちゅうがっこう

新居浜市立別子中学校

～地域と共に野菜をつくり、共に未来をつくる～



生徒全員で「別子ファーム」の看板制作



活動の経緯や現状を地域の方にプレゼン

経緯

- 地域の活性化を目指そうと、2019年、生徒の一人が中学生と地域が協働で野菜づくりに取り組む活動『別子ファーム』を立案。
- 2020年、地域の方から野菜づくりの知恵をいただきながら、協働で野菜づくりをスタート。

取組内容

- 地域の方から無償で土地を借り、畑づくりから苗植え、栽培方法まで指導してもらい、協働で野菜づくりに取り組む。
- 生徒が地域の人とパートナーシップを築くことで、過疎問題等の地域課題解決に向けて取り組んでいる。
- 生徒は野菜の生産から流通、消費までの経済活動を体験的に学習。

活動の効果

- 生徒と共に野菜づくりを行うことで、地域の方にとっての喜びや希望となっている。
- 生徒は野菜づくり等の体験を通して農業と農産物の尊さを理解でき、流通・消費の経済活動を体験することにより、社会で活躍するための視野を広げることができる。

応募団体からのアピール・メッセージ

IT化やグローバル化に対応した学習を進める中で、ローカルで人や自然とつながる教育活動を充実させ、教育を軸に人が集まる地域にしたい。

奨励賞

えぬびーおーほうじん

にじゅういち

せんじょうたなだ

NPO法人 うちぬき21プロジェクト 千町棚田チーム

～千町棚田の環境保全と地域活性化を図る～



棚田オーナーによる稲の収穫



地元高校生との放置竹林調査・整備

経緯

- 千町棚田は、約80ha（石組2300枚）の農地を開拓し、稲・麦作中心の農業を行ったことに始まる。
- 近年、耕作放棄地の増加、獣害被害による石垣の崩壊が進む。
- 千町棚田の石垣保存と自然農法の農業で棚田の環境保全と地域活性化を目指し活動開始。

取組内容

- 耕作放棄地となっている棚田を借り入れ、市民と一緒に稲や野菜を栽培し、棚田の環境保全活動を行う。
- 棚田オーナー制を実施し、農業や石垣の保全に取り組む。
- イベントや農業体験活動、棚田ライトアップを実施。
- 地元高校生と放置竹林の整備を行い、廃棄される竹の利用にも取り組む。

活動の効果

- 活動当初20aから始めた水田面積は、2000年度には耕作放棄地2haを借り入れ稲作、野菜、柚、梅の栽培を行い、耕作放棄地の解消に寄与している。
- そば栽培や地域伝統行事の継承活動を行うことにより、地域の活性化が図られている。
- NPO法人Kodomo Saijoとコラボし、地元住民と農業や地域行事の交流を行うことにより、地域活性化が図られている。

応募団体からのアピール・メッセージ

地元住民の方々との協力により棚田オーナー制を実施し、農業や石垣の保存を行い、「つなぐ棚田遺産」に選定されることを目指し充実した活動を行っている。

えひめけんりつたんばらこうとうがっこう えんげいかがか やさいほん
愛媛県立丹原高等学校 園芸科学科 野菜班

～地域を支える高校生（SDGsへの取組）～



生徒達によるリアカー販売



中学生との交流学习

経緯

- 新型コロナの影響で交流学习が軒並み中止となり、このままでは地域とのつながりがなくなると懸念を抱いた。
- 「みんなで幸せになれる地域」を目指し、安全・安心な野菜作り、SDGsや新しい生活様式を取り入れた交流学习など、地域を支えることができる高校生の育成に取り組むこととした。

取組内容

- リアカー販売で接客を行い、学校で生産した安心・安全な野菜を地域の方に届ける取組を行った。
- 保育園、小中高校生、特別支援学級との連携学習を実施し、交流学习のあり方を検証。ミニトマト苗を市内の小中学校に提供し、ミニトマト栽培動画を作成して、農業に関心をもってもらえるよう「農業の魅力」を地域に伝えた。

活動の効果

- 生徒がリアカーでの接客販売を行うことで、対話能力・農作物への理解度が向上し、地域を担う高校生として、日々成長できている。
- 「愛媛県立とべ動物園」と連携し、動物園堆肥を利用した規格外野菜の提供を行う循環サイクル野菜を販売・交流学习で利用することで、SDGsの認知向上を行うことができた。

応募団体からのアピール・メッセージ

交流活動の幅を広げていき、SDGsについて学び、多くの人に広めていきたい。さらに、「SDGs未来都市」に選定された西条市とも連携をしていきたい。

奨励賞

さいじょうしえいようきょういんぶかい

げんきアップ！おうえんたい（西条市栄養教員部会）

～みそ汁でつなぐ食の未来（人生100年時代）～



麴から手作りするみそ作りの様子



チャレンジTheみそ汁 2021カレンダー

経緯

- 全国的に食育の必要性が高まり、西条市においても小中学校に栄養教諭が配置されたが、11名しか配置されなかった。
- 栄養教諭等未配置校および家庭、地域においても食育の推進を図ろうと「げんきアップ！おうえんたい」を結成し、市内全域で食育活動に取り組んでいる。

取組内容

- 麴から手作りするみそ作りがきっかけで、家庭での体験学習である「チャレンジTheみそ汁」を市内の全小中学校で実施している。
- 食材の収穫から始まる親子料理教室や、地場産物を使った給食レシピを考える小中学生料理コンクールを実施している。
- 市民対象の試食会とパネル展示等で献立の紹介を行ったり、地元産物を使ったレシピを出展したりして学校給食のPRを行った。

活動の効果

- 「チャレンジTheみそ汁」を体験した児童生徒の感想から、食文化への理解や感謝の気持ち、調理技術の向上が伺えた。
- 「小中学生料理コンクール」の入賞レシピは、市内の給食献立に取り入れている。
- 栄養教諭未配置校での食育出前授業を実施することで、市内全域の食育を推進することができた。また、コロナ禍ではオンラインを活用した講演も実施した。

応募団体からのアピール・メッセージ

学校給食に地場産物を活用し、郷土料理や行事食を実施することで、地元の農林水産業の活性化や、未来を担う子供たちの健康増進、および食文化の継承を図っている。

えひめけんりついのうぎょうこうとうがっこう
愛媛県立伊予農業高等学校 生活科学科食物班
せいかつかがくしよくもつほん

～いよはよいプロジェクト ー地域食材PR活動ー～



地域食材を使用したレシピを考案し、伊予市をPR



ウェルピア伊予バイキング提供の様子

経緯

- 伊予市で唯一の高校として「大好きな伊予市のために、地域のお手伝いをしよう!」という目標のもと、3年前から「いよはよいプロジェクト」を展開。
- 当初は保育所のお遊戯会の衣装の製作、地域の清掃を始め、地域の方々を手助けする活動、私たちができることにチャレンジ。

取組内容

- 花の森ホテルと連携し、「中山栗メニュー」の提供。愛媛県森林組合と伊予市学校給食センターと連携し、給食献立の開発。
- ウェルピア伊予と連携し、ランチのバイキングメニューを開発。
- コンテストにチャレンジし、伊予市の魅力をPR。
- 企業とコラボしてテイクアウトメニューの開発・販売。

活動の効果

- ウェルピア伊予と連携し、ホテル敷地内の空き地に「ウェルピア農園」を作って、職員の方と一緒に野菜を栽培し、開発したランチのバイキングメニューに使用。
- JAカレンダー掲載レシピコンテスト等に採用され、伊予市の食材のPRに貢献。
- 道後のホテルと連携し、お弁当を販売。コンビニと連携し、コンビニスイーツを開発。

応募団体からのアピール・メッセージ

伊予市はステキな場所も多く、魅力的な地域です。私たちの開発したレシピが「ご当地グルメ」となるよう、更なる研究を続けていきます。また、たくさんの人に伊予市について知ってもらい、「伊予市に行ってみよう!」と欲していたきたいです。伊予市唯一の高校の高校生として、伊予市に来た人、住んでいる人みんなが笑顔になるような活動を続けていきます。

伊予市下吾川1433 Tel:089-982-1225



特別賞

えひめけんりつみさきこうとうがっこう

愛媛県立三崎高等学校「せんたんプロジェクト」

～四国最西端から最先端の活動を！～



みさこう Cafe



第3回ダルメイン世界マーマレードアワード&フェスティバル

経緯

○本校の位置する伊方町は少子高齢化が急速に進行しており、主力産業である農業・漁業や伝統文化等の継承が課題となっている。そこで、高校生が地域の中に入り、地域の人と関わることで地域を活性化するとともに、将来、地域に帰りリーダーとなることのできる人材の育成を目指して活動に取り組むようになった。

取組内容

○本校では全校生徒で行う地域活性化活動「せんたんプロジェクト」を行っている。このプロジェクトでは、全校生徒が6つのグループに分かれて探究活動に取り組んでおり、その成果物として、みさこうCafeの営業やだいたいマーマレードの開発、地域PR用のショートムービーの製作、幼小中高合同の防災避難訓練の実施、防潮堤に絵を描くイベントの開催、サイクリングイベントの主催等、さまざまなプロジェクトを実施している。

活動の効果

- 「みさこうCafe」で地域の特産物を活用した商品を提供し、町内外から100名を超えるお客様に来ていただき、佐田岬半島のアピールにつながっている。
- 「第3回ダルメイン世界マーマレードアワード&フェスティバル日本大会」アマチュアの部において金賞(ベストカテゴリー賞)を獲得し、高校生部門で「世界一」に輝いた。
- 本校の入学人数の増加、さらに「佐田岬半島にある三崎高校」として多くのメディアに取り上げられたことによる、本校及び伊方町の関係人口の増加につながった。

応募団体からのアピール・メッセージ

生徒一人一人と地域住民との関わりをより密にすることで、生徒のキャリア形成と伊方町への移住・定住者数の確保につなげていきたい。